

精神病理学Ⅰ(2)

[成績評価の方法・観点]

期末試験（100％）による。

ただし、登録人数や授業形態等に応じて、成績評価の方法を変更することがある。講義時間中ならびに掲示による通知に注意してください。

[教科書]

松本卓也『症例でわかる精神病理学』（誠信書房, 2018）ISBN:9784414416442

[参考書等]

（参考書）

松本卓也『心の病気ってなんだろう？』（平凡社, 2019）ISBN:978-4582838091

濱田秀伯『精神医学エッセンス 第2版補正版』（弘文堂, 2020）ISBN:978-4335651519

[授業外学修（予習・復習）等]

予習として、教科書・参考書の読書。復習として、授業中に配布したプリントと自分自身のノートの内容を照らしあわせて理解を深めること。

なお、授業外学修には、いわゆる「予習・復習」だけでなく、授業のなかで学んだことを各自の自習や日常や課外活動のなかで応用・実践し、生きた知識にすることも含まれる。

[その他（オフィスアワー等）]

後期の「精神病理学」と合わせ、精神病理学のおおよその全体像を把握していただけるように、前期と後期を通して、講義内容を構成しています。原則として前期と後期を通して学ぶことを奨めます。

[実務経験のある教員による授業]

分類

実務経験のある教員による実務経験を活かした授業科目

当該授業科目に関連した実務経験の内容

精神科医師・公認心理師としての様々な領域での臨床実務経験

実務経験を活かした実践的な授業の内容

精神科医師・公認心理師としての様々な領域での臨床実務経験にもとづいて、精神病理学の知識を教授する。